

市老協だより

夏号



これからの社会を見据え、関係者・市民
一体となった取り組みを進めてまいります。



介護ケア推進担当部長
丹野 英司 様

今年2025年はいわゆる団塊の世代の方々が75歳以上となります。我が国の高度成長の礎を築いた方々が高齢期を安心して過ごせるよう環境整備を急ぐとともに、高齢期を迎えられた方々を支えるご家族等にも目を向けた支援の仕組みづくりの重要性も高まっています。そうした背景も踏まえ、京都市では市議全員の熱い思いが結実し「京都市ケアラー支援条例」が昨年11月に制定されました。社会全体でケアラーを支え、すべてのケアラーが健康で文化的な生活を営み、自己実現を図ることができる社会の実現を目指しています。

こうした社会の実現にあつては、介護保険サービス等のご利用者だけでなく、そのご家族に寄り添い、個々のご希望等をくみ取りながら、業務に取り組みされている事業者の皆様のご尽力な

くしてはなしえません。京都市において、その先頭を走っておられる貴協議会の皆様とともに、より一層、関係者・市民一体となった取組を進めていきたいと考えております。今後ともご協力よろしくお願いいたします。

また、介護が必要になる方の増加が見込まれる一方で、生産年齢人口の減少に伴い、様々な産業分野で担い手不足が深刻化しています。国においてもICT化の促進や配置基準の弾力化等、将来の介護需要への対応が検討されており、今後を見据えると、ケアの効率化・負担軽減、外国人人材をはじめとした担い手のすそ野を広げていくといった取組は避けて通れないものと考えています。守るべきものはしっかりと守りつつも、更なる進化に向けて、貴協議会等の介護の第一線で働かれている皆様のご意見を頂戴しながら、本市も知恵をしぼり、また関係機関等へ働きかける等、共に汗をかいて参りたいと思います。

※ケアラーとは

高齢、身体上又は精神上的の障害、疾病、使用する言語等により援助を必要とする親族友人、その他の身近な人に対して無償でケアを提供する者のこと

INDEX

- 01 行政からのごあいさつ
- 02 京都市老人福祉施設協議会
新役員体制のご挨拶
- 03 京都市老人福祉施設協議会
歓送迎会
- 04 令和7年度新入職員合同入職式
- 06 未来のかいごイラストコンテスト募集
第9期ハートメッセンジャー委嘱式・研修報告
- 07 経営委員会の取り組み
- 08 新規施設紹介 京都市菊浜特別養護老人ホーム

協議会のYouTubeとInstagram登録を、
ぜひよろしくお願いいたします！



YouTube



Instagram



一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会

新役員体制の ご挨拶

平素は当協議会の事業に格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。
さて、令和7年3月26日の会員総会において新役員（理事・監事）が選任され、4月1日の臨時理事会で会長、副会長を選任いたしました。

介護人材の不足や数年前から続く急激な物価の上昇など、高齢者福祉を取り巻く課題はたいへん多岐にわたりますが、市民の皆様の暮らしを支える社会福祉法人の使命と、協議会が果たすべき役割の重さを認識し、役員一同決意を新たに会務運営に尽力する所存です。

何卒ご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。



始田知大 理事（社会福祉法人美郷会 大枝美郷）

西村久史 副会長（社会福祉法人勸修福祉会 長楽園）

北田恵美子 理事（社会福祉法人フジの会 みやびのその）

河本歩美 副会長（社会福祉法人京都福祉サービス協会 紫野）

新川昌代 理事（社会福祉法人健光園 健光園あらしやま）

河合悟 副会長（社会福祉法人洛南福祉会 レーベン横大路）

村上ちこ 理事（社会福祉法人かなえ福祉会 すないの家太秦）

石田昌男 理事（社会福祉法人富士園 梅津富士園）

児玉直久 会長（社会福祉法人香東園 香東園やましな）

村上幸子 理事（社会福祉法人京都基督教福祉会 シオンの里）

竹田史門 副会長（社会福祉法人同和園 同和園）

坪倉真樹子 理事（社会福祉法人七施会 アムールうずまさ）

鈴木克啓 理事（社会福祉法人伏見にちりん福祉会 ケアハウス西院）

林忍夫 副会長（社会福祉法人協和福祉会 ケアハウス山科）

濱口洋行 監事（社会福祉法人市原寮 花友しらかわ）

西村英亮 監事（社会福祉法人洛東園 洛東園）

田中裕介 副会長（社会福祉法人嵐山寮 嵐山寮）

石田雅之 監事（社会福祉法人仁恵会 ユーカリの里）

馬場協一郎 理事（社会福祉法人京都老人福祉協会 京都老人ホーム）

溝口武美 副会長（社会福祉法人北桑会 なごみの里）

歓送迎会を開催しました

令和7年4月23日、ホテルオークラ京都にて、京都市老人福祉施設協議会の歓送迎会を開催しました。当日は、行政関係者をはじめ、関連団体の皆さまにもご出席いただき、総勢109名の方々にご参集賜りました。

冒頭では、本会児玉会長より開会の挨拶が行われ、その後、保健福祉局 健康長寿のまち・京都 推進担当局長 八代康弘様より、来賓代表挨拶をいただきました。また、来賓紹介の時間では、京都の地域福祉を支える多くの関係団体の皆様をご紹介させてい

ただきました。

歓談の時間には、各施設の異動状況などの報告もあり、参加者同士の交流が深まりました。締めくくりには本会林副会長より中締めめの挨拶が行われ、温かな雰囲気の中で会は幕を閉じました。

本会は、引き続き関係機関との連携を大切にしながら、地域の高齢者福祉の充実に努めてまいります。

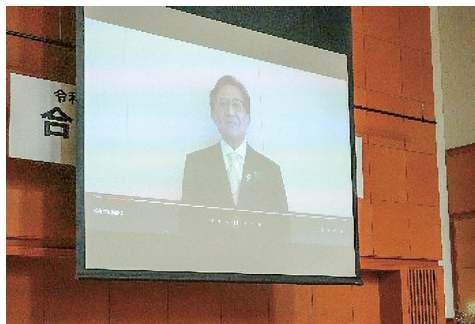
(総務委員会 組織運営部会)



京都市の全施設が集まった合同入職式

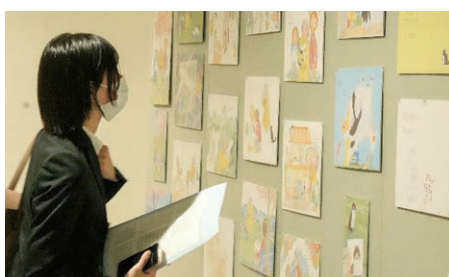


令和7年4月26日（土）ひと・まち交流館京都にて令和7年度新入職員合同入職式を開催しました。京都市の共催のもと「仲間意識と記憶に残る」をコンセプトに市老協が一体となって90名の入職者を歓迎しました。



来賓の挨拶では京都市の松井市長からビデオメッセージで「お一人お一人の活躍が、京都の明るい未来を切り開いていくと信じています」などの激励の言葉を頂き、大

谷大学の志藤 修史教授からもご祝辞を頂きました。入職者はもちろんのこと、福祉関係者の心にも響きました。



合同入職式が、新たな門出を迎えられた皆さんのこれからの福祉人生におけるかけがえのない出会いと、温かい「仲間意識」を育むきっかけとなることを願っています。

合同入職式の看板は、今年もビハラー十条の武田亮馬さんに作成していただきました。筆と墨を使って桜が舞い散る京都市内を鳥になったように上空から見た景色が描かれています。



入職者代表あいさつ

今回の入職者代表あいさつは、ご本人より福祉に対する思いや決意を自分自身の言葉で伝えていただくこととし、入職者を代表してお二人の方より力強いあいさつをいただきました。

最初は緊張した様子のお二人でしたが、立派に堂々と発表されました。



社会福祉法人洛南福祉会レーベン横大路の尾井ふたすけ 楓介さんは「施設の一職員として、向上心を持ち、介護の知識や技術を学ぶ姿勢を忘れず、利用者に寄り添う介護のできる職員になりたい」と決意を表明しました。

また、社会福祉法人北桑会 高齢者総合福祉施設しゅうざんの、ミヤンマー出身のソーソーミヤツさんは「これからご利用者と一緒に楽しみなगर、たくさんの人に喜んでもらえるように頑張りたい。そして、介護福祉士を目指したい」と抱負を述べました。お二人それぞれが挨拶文の中で、



「一緒にがんばりましょう」というメッセージを同期となる会場の参加者へ呼びかけ、会場全体が大きな拍手でいっぱいになりました。

チームエンパワーメント代表 田中孝史さま講演

「WILL HELP U」プロジェクト
人に優しい街づくりを実現するために活動されているチームエンパワーメントの方々。



合同入職式では、講師の田中さまから、「人が支え合うことの素晴らしさと助け合うことの大切さ」、

『そうすることによって人間の根源的な喜びが享受できること』、『それを当たり前の社会にしていきたいという福祉の精神』について、教えていただきました。エンパワーメントコースから、ヒカルさんとノリさんによる音楽LIVEを披露していただきました。2人で歌う「介護の歌」は、滋賀県の介護施設で働く職員にアンケートを実施し、その声を歌詞に紡いでいかれた歌です。ヒカルさんのソロ曲『はじまりのうた』では、初めて介護の仕事をする心境



が歌われていて、不安と緊張を感じながら働く入職者から、『自分だけじゃないと思えた』と、共感の気持ちに寄せられました。一方、ノリさんのソロ曲「お米の歌」では、会場にいる入職者や、河合副会長、河本副会長もステージに上がり、ノリノリの音楽に、もも上げダンスで盛り上がりしました。

スピードくじ

昨年より開催しているスピードくじを今年も行いました。昨年、

「もつ少し当選者が多ければいいなあ」というお声を受け今年は当選者数を7名から10名に増やし、当選商品にはゲストでお招きしたチームエンパワーメントさんのグッズ、近江牛カタログ、高級ドライヤーなどをご用意させていただきました。

司会進行や商品の紹介はハートメッセンジャー4名にご協力いただき大いに会場を盛り上げてもらい、当選された皆さんや会場からは喜びの歓声が聞かれました。結びに河合副会長より入職者の皆さんへエールのお言葉をいただき閉会となりました。

市老協一同、入職者の皆様がこれから高齢者福祉職員、京都市老協の一員として大いに活躍されることを願っております。

(人材確保・定着委員会)





未来の「かいご」イラストコンテスト

京都市内に在住または通学している
小学生・中学生のみなさんを対象に、今年もイラストコンテストを開催します！

今回のテーマは「高齢者がイキイキと暮らせる町」

おじいさんやおばあさんが、安心して楽しく毎日を過ごし、生きがいや役割を持ちながら地域とつながれる——
そんな“理想の町”のアイデアを自由な発想で表現した作品を募集します

令和7年12月31日(水)

募集期間 令和7年「介護の日」11月11日(火)～令和8年1月9日(金)

※詳細は今後お知らせします。ぜひ、関係者のみなさまにもシェア・ご紹介をお願いいたします。

諸事情により変更させていただきます

KYOTO
かいごフォト
コンテスト

今年も開催決定！

令和7年度京都市老協
「介護の日」記念事業

KYOTOかいご
フォトコンテスト

今年も「介護の素晴らしさ、喜び、楽しさ、やりがい、感謝」
が伝わる作品を募集します。今年は職員さんの笑顔に注目
した賞を新設！ぜひ奮ってご応募ください。



募集期間：8月初旬～9月末

詳細は、随時 KYOTO かいごフォトコンテスト特設サイトにてお知らせします。 <https://jimukyoku04.wixsite.com/kyoto-srk-photo>

第9期ハートメッセンジャー 委嘱式・研修報告

6月11日、第9期ハートメッセンジャーの委嘱式を開催しました。

第7期・第8期はコロナ禍の影響によりオンラインでの実施となったため、対面での委嘱式は実に6年ぶりとなりました。そのため、参加者の多くが初めて顔を合わせる状況で、当初は緊張も見られるのではないかと心配をしていましたが、OBハートメッセンジャーの藪田さんによる活動のやりがいやご自身の体験談を皮切りに、京都市総合教育センターの島先生による「中学校家庭科授業におけるゲストティーチャーの役割と意義」についてご講義が続ぎ、序盤のグループワークから活発な意見交換が始まり、会場は早々に活気づきました。参加者の皆さんには、この授業の重要性や必要性を実感して頂けたようで、講義後に記入いただいた付箋コメントにも、前向きな意見が多くみられ、大いに充実した研修となりました。

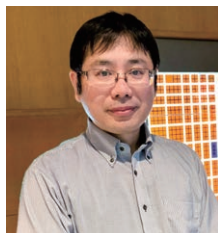
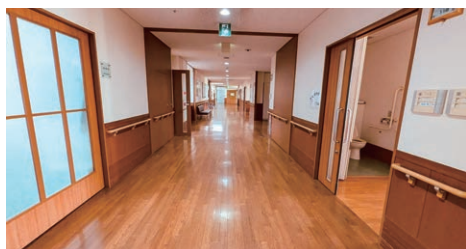
また、研修終了後には懇親会も行い、研修時の良い雰囲気そのままに、楽しい時間を共有することができました。コロナ禍により一時途絶えていた横のつながりを、今回初めて体験された方も多くいらつしたと思います。

このようなネットワークの広がりも、ハートメッセンジャー活動の魅力のひとつだと感じています。

(人材確保・定着委員会)



京都市菊浜特別養護老人ホーム



「無事」^{むじ}

「あたりまえの尊さを感じられる
チームづくりを目指します」

当施設は、これまで長年、地域の福祉サービスを担ってきた菊浜ショートステイの後を受け、4月より特別養護老人ホーム洛東園（※1）よりの一部移転という形で新たな特養での指定管理者として開所をさせて頂きました。

今回、東山区から下京区への入居者の方々30名以上の引越し、資材等の大規模な移動と特別養護老人ホーム洛東園 平成元年の開所以来の大規模な事業となりました。

移転につきましては、できる限り入居者の方々のご負担のないよう1日で実施させて頂きましたが入居者の方々にとっては毎日見慣れた暮らしの場から、一夜明けて新しい暮らしの場となり、スタッフも昨日までのシフトとは異なる新たなシフトでの翌日を迎えるといったスタートでありました。

その中で無事に終えられたのは、ご入居者・ご家族、そして関係機関の皆様のご理解

とご協力あつての事と感じると共に、ご家族や・スタッフなど見慣れた人がいる、いつもと同じ返事が返ってくる……などの、いつもと変わらない空気感があつたからと感じています。

フロアについては2フロアとし、夜明けの光景を描き「暁（あかつき）」と「東雲（しのめ）」と名付けました。

施設としては22年目迎え、決して「キラキラ」としたものではありませんが、これまでに培ってこられた地域住民の方々、各団体・関係者の方々との基盤を引き継ぎながら交流を重ね、頼られる施設づくりを目指してまいります。

※1…特別養護老人ホーム洛東園（東山区4/7より定員56名（広域型）↓定員22名（地域密着型）へ転換

京都市菊浜特別養護老人ホーム

施設概要

法人名：社会福祉法人 洛東園

施設長：石川 周次（いしかわ しゅうじ）

所在地：〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地 1
ひとまち交流館京都 4・5 階

電話：075-354-8751

FAX：075-354-8752

E-mail：r-kikuhama@wing.ocn.ne.jp

事業内容

- ・特別養護老人ホーム 37名（従来型）
- ・短期入所生活介護 3名（併設及び空床利用型）

